

## 「大学入学共通テスト」迫る！

年の瀬の訪れと共に、「大学入学共通テスト」までの残り日数も少なくなってきました。今年度は近年では最も早い1月13日（土）・14日（日）の両日に実施されます。また、追試験については2週間後の1月27日（土）・28日（日）に、東京外国語大学と京都工芸繊維大学で実施される予定です。全国の志願者総数は491,913名と昨年度と比較して約20,000人減少しました。一方で、全国の高校3年生のうち共通テストに出願した者の割合は全体の45.2%と昨年度を上回り、2年連続で過去最高となりました。

本校3年生は全体の53.5%にあたる69名が出願しており、昨年度と同様に山梨大・山梨学院大・山梨県立大池田キャンパスの3会場に分散しての受験となります。コロナ禍での厳戒態勢での受験となった過去3年と比較するといくらか規制は緩みましたが、会場周辺への受験生以外の立ち入りには自粛が求められているため、今年度も試験当日の2日間はClassiを活用して出席確認を行います。先日、受験票および受験上の注意を配付し、受験する際の注意事項について一通り確認しましたが、共通テスト前日には激励を兼ねて再度周知する機会を設けています。冬季休業中も引き続き感染対策に万全を期してください。

昨年度は、前年過去最低の平均点となった数学I・Aをはじめ、ほぼすべての科目で平均点が5割を超える結果となりました。文系科目は全体的に難化したと言われましたが、その要因として複数の文章や資料を読んだ上で思考力を問う設問が目立った点が挙げられています。正確な知識の定着に加えて、その活用が求められる傾向は年々強くなっています。年末の対策課外、そして年明けの直前対策を有効に活用し、適正な時間配分を意識しつつ確実に加点できる問題での取りこぼしを最小限に抑えることを心がけましょう。

共通テストに臨む3年生の皆さんにとっては、文字通り3年間の学業の集大成と言えるものです。万全の体調で、自分の実力をすべて出し尽くすつもりで臨んでください。昔から「現役生は試験直前まで伸びる」と言われていています。皆さんの粘り強い努力に期待しています。

## ※電子機器類の使用について※

一昨年度の共通テストの試験中に、電子機器の使用による不正行為が発覚したことを受けて、昨年度は試験会場での注意喚起が格段に厳しくなりました。事前に配付されたリーフレットで注意事項を確認するとともに、入室後は速やかに電源を切ってかばんにしまうことを徹底しましょう。「このぐらい大丈夫」という安易な思い込みは危険です。

# 1・2年生の皆さんに今後意識してほしいこと

## ①各種体験事業やオープンキャンパス、ボランティア活動に積極的に参加しましょう

今年度は4年ぶりに2年生対象のインターンシップが実施されました。加えて県主催の一日看護師体験も再開され、本校からは2年生13名が峡東地域の医療機関での体験に参加しました。これ以外にも、オンライン看護体験や診療放射線技師体験、3年生対象の保育所見学バスツアー等も行われ、参加者からは「職業理解が深まり、将来の目標が一層明確になった」という声が聞かれました。学校単位の申し込みが必要な催しは、進路支援部から各HRに連絡し、廊下の掲示板では個人で申し込める様々な催しを紹介しています。1・2年生の皆さん、まだ先のことだと思わず、まずは情報を収集して積極的に参加しましょう。

また、多様なボランティア活動への参加を募る連絡も随時HRで行われています。世代を超えた地域の方々との交流や、地域振興への貢献を実感することで、皆さんの社会性やコミュニケーション能力は大いに向上するはずです。どこで何が自分の成長のきっかけになるか、参加してみないことにはわかりません。体験活用同様、一步を踏み出すことが大切です。

いざ進路先を検討・選択する段階になって、志望分野の体験活動あるいはオープンキャンパスに参加していないということになると、熱意や意欲そのものが疑われかねません。志望分野と関連の深い催しや志望校のオープンキャンパスについての連絡があった際は、部活動の予定や学校行事等を確認し、参加可能な場合はぜひ積極的に参加しましょう。

## ②自らの歩みを自分の言葉で表現する力を身につけましょう

令和2年度以降、受験生の出願時に提出する書類の記載内容や分量が大きく様変わりしており、「学修計画書」や「自己推薦書」の提出を課すケースが大幅に増えています。前者は入学後の学びに対して見通しを持った計画を文章で示すものであり、後者は単なる自己の売り込みにとどまらず、いかに志望分野に対する適性や意欲に富んでいるかをアピールするものです。将来への明確なビジョン、そして高校在学中の多様な経験とそれらを経た自身の具体的な成長や変容を自分の言葉で書くことが求められています。その際、ただ「努力を続けた」や「成長した」という言葉のみを羅列しても、未知の相手（受験先の採点者等）には伝わりません。授業中を含めて日頃から感じたことや考えたことを整理して書く、そして推敲する習慣を定着させておき、受験時に困らない準備を今のうちから始めましょう。

### 〈3年生の保護者の皆様へお願い〉

本校生徒の進路検討・選択に際し、例年ベネッセや河合塾等の受験関連企業が取りまとめた各種データ（偏差値・合格可能性判定など）を活用しております。これは全国の高校生の入試結果情報等により作成されたものであり、今年度の本校生徒の入試結果についても、個人情報取り扱いに細心の注意を払った上で「個人が特定されない形式」での提供を予定しております。この件に関しまして、御同意が得られない場合は提供を控えますので、1月9日（火）始業式までに、HR担任または進路支援部までお知らせください。